旅館やまつねでの総会風景。寺子屋風？

1 2 3

Like 0　ポスト

# 湖族の歴史が継がれてきた 堅田の町並みを見学。

10/25更新号で第四期を迎えた「職人がつくる木の家ネット」の総会が、11月6日-7日、滋賀県大津市内の旅館やまつねで行われました。第三期会員113名と第四期に新たに入会した11名のうち、北は岩手から、南は熊本から、総会には50名余りが集い、木の家ネット第四期の方針、それぞれの活動報告、京大防災研究所の鈴木祥之教授による限界耐力計算法の講演会など、中身の濃い一泊二日をともに過ごしました。その模様をレポートします。

琵琶湖ほとりの石畳を歩くメンバー。あたたかな朝でした。

## 中世の交易都市「堅田」の町並を見学。

13時から始まる総会に先だって早めに集合した22名で、大津市堅田地区の町並みを散策。琵琶湖は北陸から京阪神へ米などの物資を運ぶ水運や漁業で栄えたが、北湖と南湖とに分かれる琵琶湖が細くくびれたところの西岸にあたる堅田の地にはかつて、湖上の水先案内・運送・造船・漁業の権利を一手に握り琵琶湖を支配した「堅田湖族」千軒が自治都市を形成し、繁栄をきわめていたという。

琵琶湖に突き出すようにして建つ浮御堂

石畳の湖岸を歩き、茶道や俳諧を重んじたという堅田湖族の中でも有力だった居初（いそめ）家が来客をもてなすために建てた「天然図画亭」を訪れた。案内くださったのは、堅田湖族の文化が現代を現代にまで伝えてきた居初家の当主。築300年、ヨシ葺き屋根入母屋造りの茶室の座敷に座ると、庭園の向こうにそのまま琵琶湖や向こう岸の三上山が望めるすばらしい借景は、まさに「天然図画」。

堅田の町並。玄関上に掲げられた額とかわいいランプに見とれる金田さん。

地元のひなびた食堂でにぎやかな昼食を済ませた後は、本福寺や一休さんが修行したといわれる祥瑞寺などの町並みを見学しながら、広重の近江八景「堅田の落雁」にも描かれた浮御堂を目指した。琵琶湖に突き出たお堂は、近年の改修で基礎部分がコンクリートに改修されている他はタルキにいたるまで総欅づくり。メンバーは総会の時間が近づくのも忘れて見とれていた。

居初家の天然図画亭。入り口は意外と控えめで奥ゆかしい佇まい。

茅葺きの茶室を琵琶湖側から見る。茶室に座ると、植え込みの向こうに琵琶湖の対岸まで見える。

Like 0　ポスト

1 2 3

左／入り口脇の竹垣枝から分かれる小枝が揃っていてる青海波のように見える。
右／午前の見学会メンバー「滋賀はいいところですなあ」

関連する記事はこちら

鈴木祥之先生(立命館大学教授)：伝統構法で使える耐震設計法を探る

設計士・川端眞さん（川端建築計画）：小さな石場建ての家

火の用心（前編）

越海興一 室長(木造住宅振興室)：国交省木造住宅振興室室長に訊く「200年住宅」

伝統構法をユネスコ無形文化遺産に！

木の家ネットとは　つくり手リスト　特集　入会案内　イベントカレンダー　問合せ

地域別つくり手リスト

北海道・東北：北海道　青森県　岩手県　宮城県　秋田県　山形県
関東（東京以外）：栃木県　群馬県　埼玉県　千葉県　神奈川県
関東（東京）：東京都
甲信越・北陸：新潟県　富山県　石川県　福井県　山梨県　長野県
東海：岐阜県　静岡県　愛知県　三重県
関西：滋賀県　京都府　大阪府　兵庫県　奈良県　和歌山県
中国・四国：鳥取県　岡山県　広島県　山口県　徳島県　香川県　愛媛県　高知県
九州：福岡県　佐賀県　長崎県　熊本県　大分県

事務局
〒711-0906
岡山県倉敷市児島下の町5丁目7-3
児島舎内
mail： jimukyoku@kino-ie.net
tel： 086-486-5464

(C) 職人がつくる木の家ネット /Shokunin ga Tsukuru KINO-IE net, All rights reserved.

木の家イベントカレンダー

最近の特集記事
2019年6月15日 やさしくて強い、理想の家を求めて：アイ設計研究室 大前泰秀さん
2019年5月15日 磨き上げた職人技で、木を生かす：西岡建築一級建築士事務所　西岡健一さん
2019年4月20日 大工と左官の職人プロジェクトチーム 総合建築植田 植田俊彦さん 俊司さん
2019年4月10日 本物の家づくりを、自由に、楽しんで：株式会社大神楽　高橋一浩さん
2019年1月5日 新春特集 2018年のベストショット集
2018年12月29日 板倉仮設住宅 移設ものがたり part3 大工の声&今後の課題編
2018年12月17日 板倉仮設住宅 移設ものがたり part2 実録編
2018年12月14日 板倉仮設住宅 移設ものがたり part1 概要編
2018年9月4日 番匠 鵜持工務店 副棟梁・鵜持大輔さん
2018年8月15日 臨時総会予告 その1　散るより、生き延びよ！

人気のある記事
伊勢神宮遷宮・御杣始祭り：300年の大木を伐る！ 16件のビュー
冬の温熱調査合宿報告 15件のビュー
日本人の暮らしと木 13件のビュー
大工たちによる「家戻し」の記録 12件のビュー
設計士・丹羽明人さん(丹羽明人アトリエ)：納得できる答を探して 11件のビュー
第三回これ木連フォーラム「伝統構法はこれからどこへ向かうのか？」の報告 11件のビュー
「職人がつくる木の家」づくりを未来につなげるアンケート 11件のビュー
古川 保の熊本市川尻町 震災日誌 11件のビュー
込み栓角ノミ 復活！松井鉄工所訪問記 11件のビュー
サツキとメイと私の家：愛・地球博レポート 10件のビュー

この記事のタグ
建築基準法と伝統構法
木の家の安全性を考える
顔の見える関係

同じタグがついた別の記事
2010年1月16日 新潟県中越地震被災地訪問レポート
2008年3月27日 このまちにずっと残っていてほしいあの家も「既存不適格」？
2016年5月21日 熊本震災調査レポート
2008年11月28日 第八期木の家ネット総会・小江戸川越大会のレポート
2014年5月1日 新代表 大江忍インタビュー これからの「職人がつくる木の家ネット」

左／滋賀総会幹事の岩波さ正さん　中／内助の功で総会事務を支えてくださった岩波陽子さん　右／名司会の西澤良男さん。

1 2 3

Like 0　ポスト

# 顔を合わせて話せるのが 木の家ネットの魅力！

## 「顔の見える関係」と「未来への志向性」を確認。

木の家ネット代表の加藤長光さん。

6日13時半からの総会では、幹事・会長の挨拶、会計・更新状況報告、コンテンツ企画提案に引き続き、運営委員会で検討されてきた「会則と入会資格」を加藤会長が読み上げた。木組みの家づくりを実践する集まりというだけでなく、山とつくり手と住まい手とを「信頼関係で」つなぎ、持続可能な未来をつくりだしていこうという姿勢が、より際だってきた。

つくり手ブログの説明をする事務局の持留ヨハナ。

続いて、持留デザイン事務所より新企画「つくり手ブログ」の説明。PHSでネットに接続してのデモのはずが、圏外ということでホワイトボードでのアナログな説明に…。積極的な発信に使ってみたいという会員も多く、近々のブログスタートには期待が持てそうだ。

## 地域ネットワークの活動報告。

滋賀のネットワークについて報告する坂田德一さん。すばらしい発表でした。

続いて、大工・設計・林業地・住まい手を結ぶ各地のネットワーク報告。まず、坂田氏が、近年の滋賀の活動を概観。住宅に関わる専門家の学習会「木考塾」から生まれた地域材による家づくりネットワークとして大津地域の「ひとときネット」「大津の森の木で家を建てよう！」プロジェクト、東近江地域の「淡海の舎事業協同組合」が動いていることや、両者の協力で「滋賀で木の住まいづくり読本」を発行することが紹介された。続いて池田さんによる東近江地域の報告。木材の燻煙処理についての熱のこもった説明が印象的だった。最後に山梨の松田さんが、セルフビルド志向の高い八ヶ岳南麓地域で、木組みの伝統工法と施主の家づくりとをつなごうとする「八ヶ岳家づくりの会 木の香」の試みを報告。フレッシュなネットワークの今後に、皆エールを送った。

## やはりなんといっても懇親会！

東近江地区での勉強会や燻煙乾燥について語る池田博明さん。

夕刻からは、久しぶりの再会に酒を酌み交わす楽しいひととき。エネルギッシュな自己紹介が一巡するだけで大広間での一次会はおひらきに。その後も部屋ごとの交流の輪はさらに続き、若い大工さんを中心に明け方近くまで、話が尽きなかったようだ。

Like 0　ポスト

八ヶ岳での取り組みについて語る新会員の松田俊介さん（山梨・コーディネート）。

1 2 3

左上より／鈴木有さん(滋賀・設計)、坂元宏行さん(滋賀・大工)、山本栄司さん(秋田・大工)、郡山毅さん(東京・設計)、宮内寿和さん(滋賀・大工)、金田克一さん(京都・大工)、高木浩一さん(愛知・設計)、畔上順平さん(埼玉・設計)

### 木の家イベントカレンダー

### 最近の特集記事

- 2018年3月27日 伝統建築に携わるすべての職人に光を
- 2018年2月7日 「伝統建築工匠の技：木造建造物を受け継ぐための伝統技術」 ユネスコ無形文化遺産候補選定のおしらせ
- 2018年1月2日 新春特別企画 2017年のベストショット
- 2017年12月14日 第17期木の家ネット総会：倉敷大会 -民家改修と曳家-
- 2017年10月14日 気候風土適応住宅のチラシができました！
- 2017年9月4日 家のお風呂　こうやって作る、こうやって保つ
- 2017年8月8日 家にお風呂が入るまで
- 2017年6月30日 気候風土適応住宅のススメ
- 2017年6月3日 掛川総会３
- 2017年5月31日 掛川総会２

### 人気のある記事

- 伊勢神宮遷宮・御杣始祭り：300年の大木を伐る！ 16件のビュー
- 冬の温熱調査合宿報告 15件のビュー
- 日本人の暮らしと木 13件のビュー
- 大工たちによる「家戻し」の記録 12件のビュー
- 設計士・丹羽明人さん(丹羽明人アトリエ)：納得できる答を探して 11件のビュー
- 第三回これ木連フォーラム「伝統構法はこれからどこへ向かうのか？」の報告 11件のビュー
- 「職人がつくる木の家」づくりを未来につなげるアンケート 11件のビュー
- 古川 保の熊本市川尻町 震災日誌 11件のビュー
- 込み栓角ノミ 復活！松井鉄工所訪問記 11件のビュー
- サツキとメイと私の家：愛・地球博レポート 10件のビュー

### この記事のタグ

- 建築基準法と伝統構法
- 木の家の安全性を考える
- 顔の見える関係

### 同じタグがついた別の記事

- 2006年12月26日 木の家ネット第六期総会・三重大会レポート
- 2005年5月25日 探ってみよう、木の家の「底力」
- 2009年1月26日 伝統木造設計法構築に向けて、実物大実験！
- 2009年12月25日 速報！アンケートの全回答とまとめ
- 2009年3月25日 「伝統木造のこれから」大橋好光教授の展望は？

### 関連する記事はこちら

鈴木祥之先生(立命館大学教授)：伝統構法で使える耐震設計法を探る

設計士・川端眞さん（川端建築計画）：小さな石場建ての家

火の用心（前編）

越海興一 室長(木造住宅振興室)：国交省木造住宅振興室室長に訊く「200年住宅」

伝統構法をユネスコ無形文化遺産に！



事務局
〒711-0906
岡山県倉敷市児島下の町5丁目7-3
児島舎内
mail： jimukyoku@kino-ie.net
tel： 086-486-5464

(C) 職人がつくる木の家ネット /Shokunin ga Tsukuru KINO-IE net, All rights reserved.

京都大学防災研究所の鈴木祥之先生。

1 2 3

Like 0　ポスト

# 伝統構法を構造的に評価する 限界耐力計算法を学ぶ

## 限界耐力計算法講習会

総会二日目には、道の駅「米プラザ」に京大防災研究所の鈴木祥之先生をお招きして、限界耐力計算法の講習会を行った。先生は、地震力で大きく傾きながらも復元力をもつ伝統木造建築の性質を限界耐力計算法を用いて評価する研究の第一人者。実大振動実験の映像や地震の被害写真などを交え、難解といわれる限界耐力計算法の考え方を、判りやすく説いて下さった。（詳細は、あらためて「伝統構法の復権シリーズ」にてご紹介します）

琵琶湖大橋のたもと、米プラザの研修室での講演会。

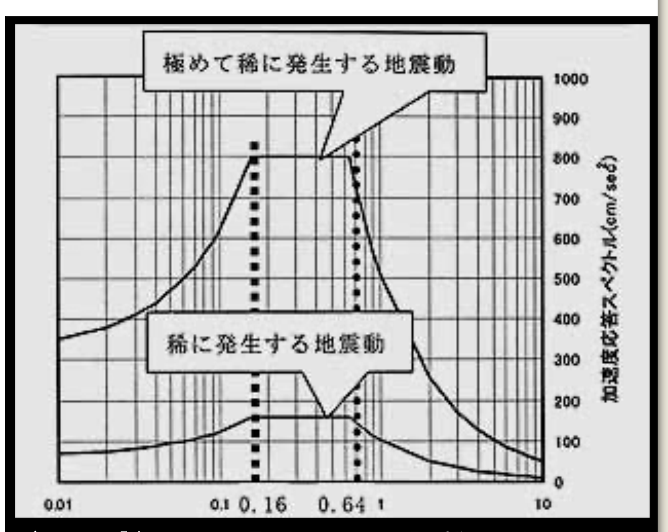
## 延暦寺根本中堂見学会

講演会終了後には、日本伝統建築保存協会の会長でもある西澤政男さんのご案内で、天台系仏教の総本山・比叡山延暦寺根本中堂などを見学。根本中堂は桁行十一間、梁間六間の広大な和様の堂宇で、内陣が外陣より３Mも低い土間になっているのが特徴。外陣に座して内陣を見つめれば、手前には不滅の法灯がゆらいでいるのだが、向こうに広がるのは漆黒の闇。その下方奥に、薬師如来の小さなご本尊がたった一本のろうそくに照らされて浮かび上がるのが、なんとも内観的、幻想的な風景。帰路には山頂から琵琶湖を眺めることもでき、次回の開催地、奥多摩での再会を誓って、一同は全国各地へと、日々の実践へと散っていった。

地震被害の写真を交えての説明が分かりやすかった。

## 中越地震調査団と災害ボランティア

今回の総会は、中越地震の調査団と災害ボランティアという具体的なアクションを生んだ。「地震にも生き残った伝統工法に学ぼう」という調査団は、総会には欠席だった菅野さんからの提案。さらに、今期入会した元・秋田県立木造高度加工研究所教授の鈴木有さんから「伝統的家屋が多く残る栃尾市で、壊されなくてよい古い建物を残すために、住宅相談窓口へのボランティア派遣を」という具体的な提案もあり、多くの会員が参加したいと意思を表明。さっそく総会の翌週には予備調査隊が出発した。（詳しくは、木の家ネットのニュース欄にてレポートしています）



グラフの「富士山の山頂」にあたる周期の揺れの時、地震力が最大になる。伝統木造の固有周期は、これよりも長めなので、壊れにくいのだという。(出典：木造軸組構法建物の限界耐力計算による耐震設計・耐震補強設計マニュアル)

鈴木祥之先生は実大振動台を使った実験もしている。（左から）筋交の家、土壁木組みの家、合板壁の家を実際に揺らした実験の映像を見せていただいた。（出典：杉の復権をめざした／TSウッドハウス協同組合）

鈴木祥之先生は、TSウッドが主催した徳島での民家の倒壊実験にも関わった。これだけ傾いてもまだ倒れないのは伝統構法の家の特徴。（出典：杉の復権をめざした／TSウッドハウス協同組合）

Like 0　ポスト

1 2 3

左／紅葉が美しかった比叡山。右／根本中堂の外観。中は撮影禁止であった。

木の家イベントカレンダー

最近の特集記事
2016年12月23日 掛川総会
2016年8月2日 込み栓角ノミ 復活！松井鉄工所訪問記
2016年6月21日 熊本震災レポート2
2016年6月9日 大工たちによる「家戻し」の記録
2016年5月21日 熊本震災調査レポート
2016年4月28日 古川 保の熊本市川尻町 震災日誌
2016年3月31日 2/16 衆議院第二議員会館 調査報告会レポート
2016年1月27日 地域型住宅の省エネルギーを探る 〜2016.1.17 京都フォラム報告
2016年1月14日 第15期 木の家ネット総会 高知大会 〜会員発表篇〜
2015年11月13日 工務店・小田貴之さん（オダ工務店）：木の家づくりのプロデューサー

人気のある記事
伊勢神宮遷宮・御杣始祭り：300年の大木を伐る！ 16件のビュー
冬の温熱調査合宿報告 15件のビュー
日本人の暮らしと木 13件のビュー
大工たちによる「家戻し」の記録 12件のビュー
設計士・丹羽明人さん(丹羽明人アトリエ)：納得できる答を探して 11件のビュー
第三回これ木連フォーラム「伝統構法はこれからどこへ向かうのか？」の報告 11件のビュー
「職人がつくる木の家」づくりを未来につなげるアンケート 11件のビュー
古川 保の熊本市川尻町 震災日誌 11件のビュー
込み栓角ノミ 復活！松井鉄工所訪問記 11件のビュー
サツキとメイと私の家：愛・地球博レポート 10件のビュー

この記事のタグ
建築基準法と伝統構法
木の家の安全性を考える
顔の見える関係

同じタグがついた別の記事
2004年2月25日 木の家ネット第三期総会報告
2009年11月27日 「職人がつくる木の家」づくりを未来につなげるアンケート
2009年3月25日 「伝統木造のこれから」大橋好光教授の展望は？
2008年5月25日 越海興一 室長(木造住宅振興室)：国交省木造住宅振興室室長に訊く「200年住宅」
2010年3月24日 「改正建築基準法再改正にむけての要望アンケート」全回答のまとめ

関連する記事はこちら

鈴木祥之先生(立命館大学教授)：伝統構法で使える耐震設計法を探る

設計士・川端眞さん（川端建築計画）：小さな石場建ての家

火の用心（前編）

越海興一 室長(木造住宅振興室)：国交省木造住宅振興室室長に訊く「200年住宅」

伝統構法をユネスコ無形文化遺産に！

事務局
〒711-0906
岡山県倉敷市児島下の町5丁目7-3
児島舎内
mail：jimukyoku@kino-ie.net
tel：086-486-5464



(C) 職人がつくる木の家ネット /Shokunin ga Tsukuru KINO-IE net, All rights reserved.